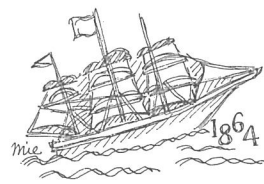


DOSHISHA REPORT



創立記念礼拝 11月25日 10時30分

同志社礼拝堂

早天祈禱会 11月29日 7時

若王子山頂

創立132周年記念式

11月29日 9時

大学神学館礼拝堂

●同志社中学校・高等学校統合事業 第1期建設工事 起工式

11月28日、京都市左京区岩倉にある高等学校南校地の建設予定地で起工式を挙行した。(写真グラビア) 野本真也理事長の聖書朗読ならびに祈禱、大谷實総長の式辞に続き、木村良己高等学校長、川瀬勝也中学校長が挨拶、理事長の祝詞で起工式を無事終えた。50人を超す参加者が工事の安全と事業の成功を祈った。中学校、高等学校は新たな歴史を開いた。

法人部

●2007年秋の叙位・叙勲

大学名誉教授栗栖弘典氏、大学名誉教授樋口和彦氏が瑞宝中綬章を受章され、11月8日国立劇場大劇場において、伝達式が行われた。

●創立記念行事

リユニオン 11月4日 10時
今出川キャンパス

大学

●「心理学部」設置計画

2009年4月、「心理学部」を開設する。学科構成は心理学科のみの一学科制。専任教員数は18人。学位は「学士

女子大学

●ANAグループとの包括協定

9月6日株式会社ANA総合研究所と連携協力に関する包括協定を締結した。この協定は、女子大学とANAグループが相互的人的、知的資源の交流と活用を図り、包括的な連携のもと教育、研究、文化等の分野において相互に協力し、社会の発展と人材育成に寄与することを目的としている。

協定に基づき、具体的な事業として、ANAの客室乗務員や研究員によるキャリア支援講座や、公開講演会を実施した。今後は、海外も含めた同グループ内でのインターンシップの拡充や、同社がビジネスで培ったものとキャリアを教育に生かすなどの連携事業の検討を進める予定。

●高大連携

高大連携推進の一環として、9月13日に梅花高等学校と、9月20日に聖母学院高等学校と、10月9日に大阪信愛女学院高等学校と、12月11日に奈良県立高田高等学校と、教育連携協定を締結した。こ

(心理学)。設置場所は京田辺校地。

文学部文化学科心理学専攻から文学部心理学科へと継承されてきた「きめ細かな少人数教育」を維持するため、学生定員は小規模(入学定員150人)にとどめる。心理学の諸理論を含めた知識体系としての講義科目のほか、心理学実験法、測定・データ解析・アセスメント法、心理療法などの技術を修得する実験演習科目、その知識と技術を運用して研究プロジェクトの立案と推進をうながす演習(ゼミ) 研究活動の強化を計画している。

●カウンスリングセンター開設50周年

50年前の10月に、「キリスト教的ヒューマニズムと民主主義的人間尊重を基盤とする学生中心主義の実践」を目指し開設。この半世紀、学生気質の変化、抱える問題の多様化、複雑化の様相を呈している。12月15日、過去を振り返るとともに、これからの50年を見据えて、わが国の学生相談の現場で、意欲的・先進的に取り組む大学の専門家を招き、記念シンポジウム「多様化する学生相談」特徴ある取り組みの現場から」を開催した。

基調講演は、樋口和彦京都文教大学学長。シンポジストは、吉武清實東北大学

の協定は、両学校における人的・知的資源の交流・活用を通じて新たな学びの場を創造するとともに、相互の教育の充実・発展に資することを目的としている。女子大学が協定を締結した高等学校は、既に協定を締結している奈良県立平城高等学校と大阪女学院高等学校を合わせて6校となった。

●第57回シェイクスピア・プロダクション

11月16日(金)、17日(土) 学芸学部英語文学科4年次生によるシェイクスピア・プロダクションはTWELFTH NIGHT or What You Will「12夜、もしくはお好きなように」を京田辺キャンパス新島記念講堂において上演した。英語文学科3年次、4年次の2年間にわたるシェイクスピアの作品研究の集大成として、4年次の秋に英語で上演し、舞台作りから衣装、字幕作成、キャスト等すべてを学生の手によって作り上げる伝統ある行事である。

第57回目を迎えた今年度も卒業生を含む学外からの来場者や在学生で賑わい、2日間の観客数は約1,200人となった。

高等教育開発推進センター教授、山中淑江立教大学学生相談所カウンセラー、畠山朝子上智大学学生局カウンセリングセンターカウンセラー、弥源治弘子大学カウンセリングセンターカウンセラー。司会は佐藤豪大学文学部心理学科教授。

●関西4大学学長フォーラム開催

「大学が世界に発信できるもの」関西に広がる可能性」と題し、12月9日、東京国際フォーラム(東京都千代田区)で読売新聞社の共催を得て同志社大学、関西大学、関西学院大学、立命館大学が主催した。基調講演は、言語学者金田一秀徳氏の「国際社会における大学で学ぶ意義」。トークセッション(50分)では、金田一氏と4大学の卒業生が、「大学で自分の将来を描く」京都・大阪・神戸で学ぶということ」をテーマに語り合った。同志社大学からは、水上斗夢氏(2007年3月商学部卒)が登壇した。老川祥一読売新聞東京本社社長をコーディネーターとして八田英二学長ほか3人がパネルディスカッションを行った。

●音楽学科第37回定期演奏会

12月12日、京都コンサートホール大ホールにおいて、第37回定期演奏会を開催。音楽学科合唱団によるO.ジェルジ「ミサ曲第9番」女性合唱とピアノのための「三善晃」を演奏。音楽学科管弦楽団によるJ.イベール「寄港地」三つの交響的絵画、J.ブラームス「交響曲第2番ニ長調Op.73」を演奏。約1,000人の来聴者を迎え、成功を収めた。



Universal Studios Japan (TM) & (C) Universal Studios.
All rights reserved. CR07-3622
“女子大学 ジョイフル・クワイア”

●クリスマススペシャルコンサート

12月15日、学芸学部音楽学科（声楽コース）の学生22人と卒業生1人が1日限りの「同志社女子大学ジョイフル・クワイア」を結成。ユニバーサル・スパー・クリスマスツリー前特設ステージにおいてスペシャルコンサートを約20分間開催し、クリスマスソングや讃美歌などを見事に歌いあげた。

高等学校

●ウエスリー交換留学（受入）

2人の教員に引率され、女子4人男子5人の生徒が来日し、ホームステイ。体育祭では流暢な日本語で自己紹介し、盛んな歓迎を受けた。生け花や習字、調理実習や日本語学習、狂言の鑑賞などを校内で行った。広島研修旅行やびわこリトリートセンターでの一泊交流、生徒企画の歓迎会などの日程をこなした。体育祭ではリレー競技に参加。岩倉祭ではオーストラリアの歌とダンスを全校生徒に披露し、交流を深めた。

9月27日～10月1日
体育祭をオープニングに、1年生は野外特設ステージでの歌あり踊りありのパフォーマンス、2・3年生はチャペルでの演劇、各クラブは展示や発表、模擬店などで活躍した。高校校舎建て替えの進捗次第で、これまでの形態による学園祭の開催は最後になる可能性もあり、生徒たちの感慨もひとしおであった。

●ようこそ先輩…社会で活躍をする先輩の話を聞く会

2年生を対象に、先輩の職業観を知ることにより、自己の進路を考え、学習意欲の増進を図る目的で、毎年この時期に担任会が主催している。高校生活の折り返し点にあたり、先輩たちの多様な生き方にふれることで、自分の進路をさらに深めるきっかけとするため、各方面で活躍する卒業生の協力を得て企画している。あらかじめ生徒の希望を募り、HRを延長し、クラス単位ではなく、各講師ごとの講演と質疑応答を行っている。

●人権学習

10月23日
全校生徒参加の人権学習会を、人権・同和委員会が主催した。3年生はあらか

じめクラスごとに希望を取り、『広島のことろ』『働くこと・生きること』『視覚障害者の現状課題』の各テーマで講演を聴き、2年生は映画『ベルナのしっぽ』を鑑賞。1年生は同志社大学などに留学中の中国、韓国、台湾、ネパールの学生と交流する機会を持った。基本的人権や民主主義の意識をじっくり考える機会として企画し、翌週のHRでは、参加して考えたことを感想文にまとめ、各自が認識を新たにした。戦後教育の指針であった『教育基本法』が『改正』されるなか、このような企画の意義はさらに増していると理解される。

●秋のリトリート

11月9・10日
同志社びわこリトリートセンターで『ネパールでのボランティア体験』のテーマで開催。生徒7人、教員4人が参加し『マタイ25章 14～30節』の朗読のあと、三浦啓先生の奨励で夕べの礼拝をもった。ネパールに行き、政情不安の中で村の人たちと交流した体験談を生徒たちは興味深く聞き、その後はキャンピングで鳥なべを囲みながら、ボランティア活動や岩倉キャンパスクリスマスマスの計画など、いつまでも話の花が咲いた。

●生協購買部の開業

11月25日
中高統合第一期事業にともない、高校食堂棟に共用管理棟（事務室・校長室・高校教員室など）が建設されるため、弁当や飲み物、文房具などを販売する生協購買部（ミニコンビニ）が、体育館東側に開業した。また建築事業予定地にあたる、トレーニングルームや部室棟も、生協購買部の北側に仮設・移転し使用が始まっている。

●クリスマス礼拝

12月11日
深田未来生先生が「地べたから地べたへ」など学年ごとに用意された奨励をされ、主イエス・キリストの降臨を祝った。献金は止揚学園や各施設、災害に遭われた地域の人々のことを思い、捧げられた。

●止揚学園訪問

12月11日
献金とリースを持って訪問。クリスマス準備の作業を手伝った後、食堂で学園の皆さんとお食事をいただき、心が平安となるひと時をいつものように過ごした。

●岩倉キャンパスクリスマス

12月18日
2005年度卒業生父母の会の寄付によるイルミネーションがチャペル入口のものみの木などに燦めくなか、第4回岩倉

香里中高

●夏期カナダ語学研修

7月26日～8月14日
中学2年生～高校3年生の31人がカナダのレスブリッジ・コミュニティ・カレッジで20日間の語学研修に参加した。午前中はESLの授業を受け、午後はアクティビティと充実した20日間を過ごすことができた。

●体育祭

9月11日
高等学校
9月12日
中学校
中学、高校ともに好天に恵まれ、玉入れ、騎馬戦、障害物競走、クラス対抗リレーなどグラウンドで1日汗を流した。

●中2修学旅行

9月24～27日
新島先生縁の地、北海道函館を中心

訪れた。コースごとに分かれて、川を遡上する鮭のつかみ取り、函館の朝市での売り子体験、イカ釣り、乗馬、じやがいも掘りなど北の大地ならではの体験学習ができた。

●遠足

9月28日

中1は神戸三宮を中心に地理フィールドワーク、中3は保津峡、高1は舞洲、高2は神戸、高3は清滝・嵐山、山辺の道、須磨海釣り公園の3コースに分かれて遠足を行った。

●文化祭

10月26・29日

今年は高校3年生を中心にステージを使って発表をするクラスが多くみられた。モザイク壁画や文化系クラブの展示など、展示にも力作が見られた。

●中3リベルタス

11月21日

中学3年生のリベルタス（総合的な学習の時間）で、社会の第一線で活躍されている20人の方々に社会人講師として迎えて授業が行われた。生徒はそれぞれが希望する分野に分かれて少人数で授業を受けた。

●クリスマスツリー点灯式

11月14日

今年、クリスマスのイルミネーションが新しくなった。点灯式には数多くの生

女子中高

●京都府高校総体で4年連続総合優勝

5月19、20日、京都府内の体育館、グランドなどで各種競技が行われた結果、各クラブが日ごろの練習成果を発揮し、優勝あるいは上位入賞の種目が牽引し、参加各選手の活躍により、女子学校対抗の部で2004年から4年連続の総合優勝を達成した。

各顧問の熱心な指導のもと、限られた練習時間と施設の中でも選手・部員が自主的に練習する伝統が継承され、99年からの3年連続をあわせ、94年以降の14年間のうち10回総合優勝を達成している。

●イギリス語学研修

7月29日～8月13日

高校2、3年生を対象に、ベルスクール・ケンブリッジ校にて研修を行った。毎年多数の希望者から選抜し、さらに研修に先立つ4月のオリエンテーション、5・6月に英文エッセイの課題、英語能力試験、アメリカ人講師による英語学習会（4回）、および事後の体験記執筆と英語能力試験を実施することによ

徒、教職員が集まり、聖歌隊がクリスマス・キャロルを歌うなかでツリーが点灯された。

●人権教育講演会

人権週間にあわせて中学・高校それぞれ講演会を催した。中学校は12月6日に落語家、笑福亭銀瓶さんによる落語と講演が行われた。日本の伝統芸能である落語を韓国語で演じ、国境を越えて受け入れられた時の感動について語られた。高等学校は12月7日に広島で被爆したピアノによる平和コンサートを催した。ピアノの弾き語りで被爆ピアノが紹介された後、被爆ピアノによる演奏やヴァイオリンとの協奏などが行われ、本校生徒も2人参加した。

●クリスマスセレブレーション2007

12月12日

小・中学生とその家族を合わせて約300人の地域の方々が参加された。キャンドル・ライト・サーピスに続いて、聖歌隊、吹奏楽部、マンドリン部、軽音楽部、ダンス部が、日ごろの練習の成果を発表した。最後にサンタクロースによるプレゼントが渡され、地域の方々とともに、クリスマスをお祝いすることができた。

り、研修参加者の能力を高めるようバックアップしている。

現地では午前・午後の集中レッスンを軸に、ホームステイを通して家庭生活を体験し、文化や生活習慣の異なる外国人家族との共同生活を通して相互理解と国際交流をはかっている。研修の一環として課外活動やケンブリッジ市内及びロンドンの観光も楽しんだ。生徒はこの研修に意欲的に取り組み、英語能力を高めるとともに有意義な体験を通して大きく成長した。

●修養会

9月15・16日

同志社びわこリトリートセンターで中学2、3年生の修養会と高校修養会を同時に開催した。中学生は「平和は愛のLive Stage」をテーマに、桜井希先生（中学校）を講師に迎え、高校生は「今を生きる」をテーマに関谷直人先生（大文学部）を講師に迎え、それぞれ厳粛に礼拝を守り、また自然の中で共に生活し、奨励に合わせて自分たちの生き方について考え、学年を超えて親しく語り合う機会を持った。

●体育祭

10月2日

好天に恵まれ、生徒は100m走、障害



華'07女祭

走、綱引き、仮装競演、応援合戦、またクラス対抗リレーやアイデアに溢れた各種の競技に参加し、中1から高3までがクラスの優勝をめざした。

●文化祭・バザー

10月4～6日

テーマは「華（はな）の祭（まつり）」。夏休み前から練習を重ねてきた合唱コンクールやク

ラス展示、クラブ発表、有志による展示、演劇、ライブなど、3日間にわたる多彩な催しを展開した。

●収穫感謝の日礼拝

11月15・16日

15日にはハンドベルの演奏、聖歌隊の合唱による賛美礼拝を持ち、16日には、果物、野菜等の収穫物を生徒が家庭から持ち寄り、白川学園副園長井上孟先生を講師にお迎えして礼拝を行った。午後には寄せられたたくさんの収穫物、献金を持って、養護施設や老人ホームなどを訪問し、園児やお年寄りとの交流のひとつきを持った。

●クリスマスページェント

12月17日

午前の部は全校の生徒、教職員がページェントを通して主の降誕をお祝いし、午後の部は卒業生や保護者と一般の方々と、そして招待した水上隣保館の子どもたちと共に、クリスマス礼拝を守った。月曜日の夜であったにもかかわらず、栄光館が満席になるほど多くの参加があった。当日の参加者から寄せられたクリスマス献金は、全国の福祉関係の施設、事業所に送った。

国際中高

●**始業式・7月入学生研修／校務オリエンテーション** 9月3日

7月入学生のために、学校生活をおくる上で必要な情報や教育方針を伝える、研修・オリエンテーションを実施した。

●**高校生バンド祭** 9月8日

文化祭の出場バンド予選を兼ねた、高校生によるバンド祭が開催された。

●**学園祭** 9月21・29日

本校最大の行事である学園祭を開催した。期間中、21日には高校、22日は中学校がそれぞれ体育祭を、29日には外来のお客様を迎え、文化祭を開催した。

●**国際理解特別講演会** 10月11日

外務省から講演者を迎え、「国際社会における日本が果たすべき役割」という問題を中心に、講演会を実施した。

●**中学3年生体験学習** 10月12・13日

中学3年生が知多半島で体験学習を実施した。

●**校内英語試験** 10月19日

在校生全員がTOEFL、実用英語検定のいずれかを選択し受験する校内英語試験を実施した。

のある青森県風間浦中学の2年生の皆さんによる「ソーラン節」のダンス披露もあり、熱い3日間の幕を閉じた。

●**秋の宗教人権週間** 11月6・9日

6日「心の奥の自分を大事にしていますか？」

安積力也先生（恵泉女学園中学高等学校校長）

7日「娘よ、あなたの信仰があなたを救った」

井田 泉先生（日本聖公会聖三一教会牧師）

8日「急いで降りてきなさい」

榎本 恵先生（宗教法人アシユラムセンター主幹牧師）

●**人権行事** 11月9日

1年生は映画鑑賞、ブラインドリーディング、点字体験。2年生はオムロン京都太陽の家、大学工学部横川研究所、京都障害者スポーツセンター等の訪問や学校での分科会。3年生はアレンネルンさんの講演の後、大阪コリアタウン等を訪ねるフィールドワーク、衣笠授産所で作業体験や学校での分科会。全校生がさまざまな取り組みを通して、人権についての理解を深めた。

試験を実施した。

●**人権強調週間** 10月29日～11月2日

人権について礼拝・ホームルームで集中的に学ぶ週間を持った。

●**秋季宗教週間** 11月5・9日

外来の先生をお迎えし、礼拝を守った。

●**中学生徒会選挙** 11月14日

1、2年生から新しい生徒会執行部を選出し、生徒会が新体制となった。

●**高校アドベント礼拝** 11月21日

クリスマスに向けて、高校生が特別礼拝を守った。

●**中学クリスマス礼拝** 12月21日

中学生がクリスマスを祝う礼拝を守った。

中学校

●**夏季キャンプ**

1年生（全員参加）は7月22日～30日にかけて4期、2泊3日で宮津市の本校由良キャンプサイトで海のキャンプを行い、クラスメイトとの親睦を深めた。また2年生（自由参加）は7月22日～8月3日にかけて4期、3泊4日の北アルプ

●**収穫感謝礼拝・施設訪問**

11月16日

ホザナコラス、ピースリンク、宗教ハンドベルの各部生徒と生徒会執行委員が西陣児童館を訪ね、収穫感謝礼拝で生徒が持ち寄った果物を届け、交流を行った。

●**クリスマス礼拝・クリスマス燭火礼拝** 12月20日

2学期終業式にクリスマス礼拝を全校で守った。夕刻、チャペルでのクリスマス燭火礼拝には、保護者や一般の方々も



クリスマス燭火礼拝

スの唐松岳登山と母池自然園を訪ねる山のキャンプを行った。天候の加減で登頂を果たせなかった期もあったが、大自然を十分に満喫した。

●**体育祭** 9月27日

各学年のクラス縦割りで、8分団によるトラック種目や綱引き、棒倒し、騎馬戦、ムカデリレー等、数多くの種目で白熱した競技が展開された。一番の見どころは分団対抗リレー。グラント全体が沸き立ち、声を嗷らしての応援が印象的であった。クラスだけでなく上級生や下級生との団結も深まる一日であった。

●**学園祭** 10月3・5日

年間の一大行事、学園祭は、京都公会館で2年生行事、演劇フェスティバル（3年生）を2日間にわたり開催し、舞台発表を行った。どのクラス、クラブの発表にも訴えかけるテーマがあり、また照明や舞台構成などにも工夫が凝らされ、魅力ある舞台であった。また最終日には学校で1年生や文科系クラブを中心とした展示発表、生徒会行事が催された。フィナーレには各分団が踊りのパフォーマンスを競う「輝舞祭」とフォークダンス等が行われた。「輝舞祭」では本校と交流

大勢参加され、静粛で厳かな雰囲気の中でクリスマスを祝った。

●**スキーキャンプ** 12月23・27日

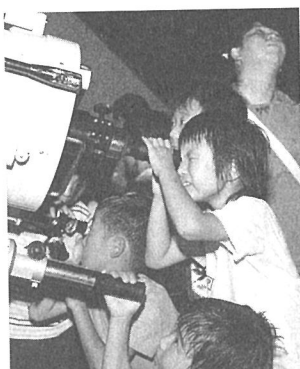
●**沖縄研修旅行** 12月24・27日

3年生（自由参加）は、長野県志賀高原一の瀬スキー場でのスキーキャンプ（4泊5日）と沖縄での平和学習を中心とした研修旅行（3泊4日）を行い、それぞれ思い出に残る楽しい日々を過ごした。

小学校

●**3年宿泊体験学習** 9月18・20日

岡山吉備少年自然の家には京都市内では味わうことができない自然が残っている。子どもたちの「振り返り」を読むと、



吉備少年自然の家での天体観測

自然の中で虫の鳴き声や、川の流れる音が心に残り、展望台から見える星の美しさに驚きを感じたようだ。友だちと助け合いながら活動することができた。

●スポーツフェスティバル 10月3日

今年は、児童のスポーツフェスティバル運営委員に当たるSFSSのメンバーが中心となり運営、進行了。全校で、学年で、クラスで、縦割りでいろいろな形態で競技や演技を実施した。保護者も一体となって盛り上がった。

●校祖墓参礼拝 10月20日

ワイルドローバー活動（縦割り活動）として創立者新島襄の墓前で礼拝を行った。



墓前で同志社縁の方々の説明を
4年生から聞く低学年

た。賛美歌を歌い、祈りをささげた後、グループに分かれ、同志社に縁のある方々の墓前で手を合わせた。

●チャレンジウィーク 11月12～16日

チャレンジウィークでは1週間かけて学年で協力し合い、一つのことをやり遂げる。1年生は剣玉、2年生は30人31脚、3年生は創作楽器作り、4年生はミュージカルに挑戦した。英語劇や英語でのビデオレターにも挑戦した。17日土曜日は各学年の取り組みの交流を目的とした発表会を実施した。やり遂げた時の満足した表情が印象的であった。

●フレスコ画制作 11月20日



フレスコ画制作

フランスで活躍中の壁画修復家でフレスコ画家の高橋久雄名古屋芸術大学名誉教授が来校され、3年生がフレスコ画の指導を受けた。木枠に漆喰を塗りこんで壁面を作り、絵を描き、着色してフレスコ画を完成させた。

●点灯式 11月28日

聖書ヨハネによる福音書8―12「わたしは世の光である。わたしに従うものは暗闇の中を歩かず、命の光を持つ」が朗読された。イエス様のお誕生を迎える心の準備をする良いきっかけとなる点灯式であった。

●クリスマス礼拝・祝会 12月15日

礼拝ではハンドベル演奏による賛美の奉仕が行われた。祝会ではページェント（聖誕劇）、キッズクワイヤー、保護者の合唱グループ「カタルパ」による合唱が行なわれた。最後に全員で「きよしこの夜」歌い、盛会のうちに終了した。

●日展・京都展作品鑑賞会 1月10日

4年生が日展を鑑賞するため京都市美術館に出かけた。当日、出品中の7人の作家から作品の作り方や鑑賞方法などを学んだ。本校の図工科教員の作品も入選し、その作品を鑑賞した。

幼稚園

●夏期保育 8月28～30日

夏休み中の全園児が登園し、水あそびなどで楽しく過ごした。

●入園説明会 9月15日

2008年度の入園説明会を開催した。

●運動会 9月22日

女子中・高校グラウンドで、ダンス、障害走、玉入れやリレーなどに参加した。全園児が「明日があるさ」の踊りを披露した。

●韓国歌曲のタペコンサート 9月29日

韓国との交流チャリティーコンサートに、年中・年長組の希望者が参加した。韓国語の歌に観客は感動、「千の風になつて」の歌では、涙される方もいた。

●同志社女子部バザー 10月6日

保護者はリース作りや宝つりなどを企画し、多くの参加者と楽しみを共にした。

●京都学生祭典 10月7日

平安神宮で開催されたそでふれのダンスに、年中・年長組の希望者が参加し披露した。

●遠足 10月11日

全園児がバス2台で、滋賀県「希望が丘文化公園」に出掛けた。広い芝生や山で、各学年が楽しく交流した。

●紫組お茶会野点 10月17日

同志社礼拝堂の前で、学内教職員や保護者に子ども達がお抹茶をたてて振る舞った。

●創立110周年記念会 11月10日

女子大学栄光館ファウラー講堂にて記念会を開催した。記念礼拝の後、各学年で歌やダンスやお芝居を発表し、全園児、保護者、教員がミュージカルに出演した。

●おもほり（年長組） 11月15日

北山の畑へ、年長組がおもほりに出掛けた。

●収穫感謝祭 11月16日

各家庭から持参した果物や野菜を囲んで、全園児で礼拝をもった。

●創立記念作品丸太小屋作り 11月21・22日

創立110周年を記念して、園庭に全園児で丸太小屋を作った。

●クリスマスイルミネーション点灯式（音楽礼拝） 11月28日

上賀茂伝道所の牧師によるクリスマス

イルミネーションの点灯式と音楽礼拝が行われた。

●クリスマス礼拝・祝会 12月2日

寒梅館でクリスマス礼拝・祝会を催した。年長児のページェント劇に、年中児は聖歌隊として参加した。祝会では歌や合奏をし、みんなでクリスマスをお祝した。

●シチューの日 12月6日

収穫感謝祭で園児が持参した野菜を使ってシチューを作り、果物と共に頂いた。

●バプテスト病院訪問 12月7日

年中・年長組がバプテスト病院を訪問し、ページェント劇を演じた。